



熱田区社会福祉協議会  
オリジナルキャラクター  
アツツとタツツ

データで見る

# 熱田区の高齢者の特徴



～データ分析に基づく介護予防地域診断～

名古屋市では、「健康とくらしの調査（JAGES2019）」（※）に参加し、市内の高齢者を対象とした介護予防に関するアンケート調査を実施しました。

熱田区では、今後の取り組みの参考にするために、「健康とくらしの調査」の結果を分析し、熱田区にお住まいの高齢者の皆様の特徴をまとめました。

## ※健康とくらしの調査（JAGES2019）

調査対象者：市内在住の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者  
（令和元年10月26日時点で65歳以上の人）

対象者数：25,000人（うち熱田区747人） 回収率：18,578票 74.3%（うち熱田区551票 73.8%）

調査方法：郵送による

調査期間：令和元年11月25日～令和元年12月16日

## フレイル（年をとって、体と心のはたらきや社会的なつながりが弱くなった状態）

順位は16区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は9位以下（状況が悪い）

主な項目	全体	女性	男性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
要支援・要介護リスクの低さ	1位	5位	1位	8位	3位
1年間に転倒しない者の割合	1位	1位	3位	1位	4位
30分以上歩く者の割合	1位	1位	10位	5位	1位
フレイルがない者の割合	4位	7位	4位	5位	7位
低栄養者割合の低さ	9位	5位	11位	12位	7位

### フレイルの まとめ

- 30分以上歩く人が多く、転倒する人は少ないです。
- 要支援や要介護になるリスクや、フレイルありの割合は低くなっています。
- 男性や前期高齢者で、低栄養の人の割合が多くなっています。

## 社会参加

順位は16区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は9位以下（状況が悪い）

主な項目	全体	女性	男性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
通いの場への参加者割合	1位	1位	8位	3位	1位
特技や経験を 他者に伝える活動参加者割合	3位	1位	9位	6位	3位
収入のある仕事への参加者割合	3位	3位	7位	5位	9位
町内会・自治会参加者割合	4位	3位	10位	9位	4位
ボランティア参加者割合	5位	7位	5位	9位	4位
閉じこもり者割合の低さ	6位	3位	11位	14位	3位
グループ活動へ 参加意向がある者の割合	7位	2位	11位	12位	2位
友人知人と会う 頻度が高い者の割合	13位	8位	16位	15位	5位

### 社会参加の まとめ

- 全体では、多くの人が社会参加に積極的であると考えられます。
- 一方で、性別・年代別では、男性と前期高齢者が、仕事以外の社会参加に積極的ではない傾向にあると考えられます。



## 認知症への理解

順位は16区中の順位（状況が良いほど順位が高い）／赤字は9位以下（状況が悪い）

主な項目	全体	女性	男性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
認知症の人も地域活動に 参加した方が良いと思う人の割合	10位	13位	6位	13位	6位
認知症になっても 自宅で生活したい人の割合	13位	12位	13位	15位	6位
家族が認知症になったら近所の人に 知ってほしいと思う人の割合	15位	9位	13位	14位	2位

### 認知症への 理解の まとめ

- 熱田区全体で、認知症に対する理解が進んでいないと考えられます。
- 年代別では、前期高齢者において特に理解が進んでいません。
- 周囲のサポートや安心できる環境、適切な治療があれば、認知症の人が自分らしい生活を長く続けることができます。
- より多くの市民の皆さんが、認知症についての正しい知識を身につけ、理解を深めることが必要です。



### 認知症になっても安心して暮らせるまち絵画作品募集

熱田区では、令和3年9月に区内の小学生を対象として絵画作品を募集し、106名の方から素敵な作品を応募していただきました。熱田図書館においてすべての作品を展示し、あわせて認知症関連の本を紹介しました。



熱田区の認知症施策について、詳しくはこちらをご覧ください。

熱田区 認知症専門部会の取り組み

検索

# 口腔ケア（お口の健康）

順位は 16 区中の順位（状況が良いほど順位が高い） / 赤字は 9 位以下（状況が悪い）

主な項目	全体	女性	男性	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)
残歯数が多い者の割合	10位	9位	12位	9位	16位

## 口腔ケアの まとめ

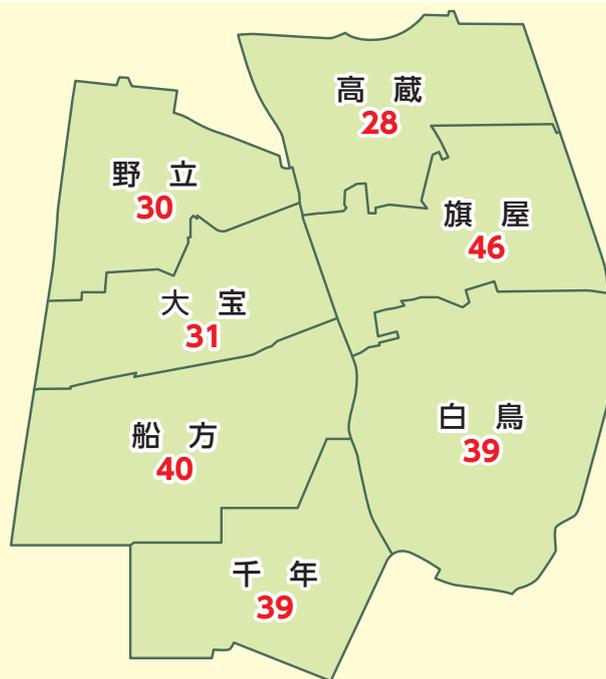
- 残っている歯が少なく、よくかむことができないと、認知症の発症や転倒するリスクが高くなるといわれています。
- より多くの歯を残すため、熱田区全体で、日ごろから歯周病予防やむし歯予防などの口腔ケアに取り組む必要があります。

# 学区別の状況

すべての項目（※ 65 項目）のうち、市中央値を上回る項目（成績が良い項目）の数は以下のとおり。

## ※ 65 項目の内訳

社会参加関連	: 18 項目
フレイル関連	: 13 項目
孤立・孤独関連	: 9 項目
認知症関連	: 7 項目
気分・幸福感関連	: 6 項目
口腔ケア関連	: 2 項目
その他	: 10 項目



## 学区別状況の まとめ

- 区の北部よりも南部において、市中央値を上回る項目が多くなっています。
- 区の北部において特に、介護予防に向けた取り組みが必要です。



熱田区の地域包括ケアシステムについて、詳しくはこちらをご覧ください。

熱田区の地域包括ケアシステム

検索